

学校に行く。授業を受ける。新しい発見や学びがある。これは私にとって当たり前であり、日常的なことだ。このような日常を送ることができるのは、自分で学費を払っているからではない。税金のおかげだ。

生徒一人につき年間でのどのくらい税金が使われているのか、私は初めて知った。とても驚いた。私の想像をはるかに超えていたからだ。これだけ多くのお金を自分で払うことは、とても難しいと思う。もし税金が使われていなかったら、学費を払えなくなり、学校に行けない人が出てくるかもしれない。きっとそれを無くすために、教育に税金が使われているのだろう。

私はこう考える。「社会は子供の未来に投資してくれている」と。私たちはこれから成長して大人になり、社会をつくっていかなければならない。よりよい社会の担い手を育てるために、税金を使って、十分な教育を受けられるように環境を整えているのではないか。しかし、私たちがそれを活用しなければ、投資は無駄になってしまう。だから、私たちは与えられた良い環境を有効に活用し、自分で自分を進化させる必要があると思う。

例えば、無償で提供していただいている教科書や iPad。これらは自分のお金だけでは買えないもので、税金があるからこそ全員に平等に与えられているものだ。私たちは教科書をたくさん読んで自分の知識を広げたり、iPad を使って好きなことを追究したりして、自分を進化させることができる。一方で、与えられたものを活用しなければ、自分はあまり進化しない。こうなると、投資つまり税金が少し無駄になってしまうのではないかと思う。

学校外でも、教育環境は整えられている。私が住んでいる市では、国際交流を盛んにし英語力を伸ばすために、様々な英語活動が行われている。オンラインホームステイ、グローバル人材の育成に向けたシーラボなどだ。今年、私はそのシーラボに参加した。参加する前と後では物事に対する考え方が変化し、とても視野が広がったと思う。つまり、この活動を通して進化できたということだ。しかし、もしこの活動に参加していなかったら、私は変わっていなかったと思う。たくさんの人々や税金によって環境は整えられている。私たちは多くのチャンスを与えてもらっている。そのチャンスを活かすことができるかできないかは自分次第だ。

私たち国民には納税の義務がある。何のために税金を払わなければならないのか。それは、みんなでよりよい社会をつくるため。助け合ったり支え合ったりして、今の社会はもちろん、未来の社会も明るくするために税金があるのではないだろうか。私は、税金で自分も社会も進化させていきたい。